

キーパーコーティング、愛車を守る。

KeepPer TIMES

「キーパータイムズ」 vol.112 2012.4.17.TUE

発行所/アイ・タック技研株式会社 愛知県大府市吉川町 4-17
TEL.0562-45-5258 FAX.0562-45-5268

発行人/谷 好通

発行部数/ **18,000** 部
(札幌、仙台、東京、神奈川、名古屋、大阪、福山、広島、福岡)

<http://www.sensya.com>

キーパー コーティング 検索 ☎ 0120-517-158

無断コピー・複製を禁ず



キーパーコーティング調査隊実験レポート

花粉のシミ跡は、“お湯(熱)”をかければ取れる!

スギ花粉にはペクチンという物質が含まれていて、花粉が大量に乗った車のボンネットなど、洗車で花粉をキレイに洗い流しても、どうしても取れない「シミ」を残すことがある。これは万能、超強力かつ安全なクリーナー「爆白」でも取れない珍しいシミだ。しかし、このシミはコンパウンドでこすらなくても、研磨しなくても、70℃以上のお湯をかけると跡形もなく消えることが判明した。その真意を探るべく、再現実験を行った。

MISSION 1

まずはスギ花粉を採取!

調査員は、花粉が発生する3月、東京の八王子駅から50分の武蔵五日市駅の山中に向かった。

空に舞う花粉を採取することは難しく、花粉が飛び出す房部を大量に採取。

黒いテスト用塗装板の上に並べて花粉を刻み出し、しばらく置いて花粉房を取り除くと、**明らかにシミになっていた。**



1 調査員は、いざ武蔵五日市駅の山中へ...



2 山ほど採取したスギ花粉の房



3 黒いテスト用塗装板の上に並べて、花粉を刻み出す



4 しばらく置いて花粉房を取り除くと明らかにシミを作っている

MISSION 2

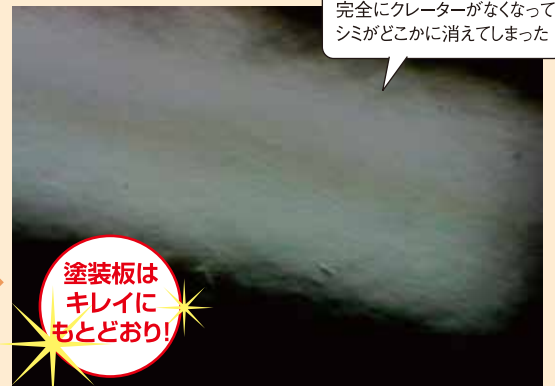
シミのできた塗装板をヘアードライヤーで温める

洗い流して顕微鏡でのぞいてみると



塗装面に残った花粉をキレイに洗い流し、×30のマイクロスコブ(顕微鏡)で覗いてみたら、塗装の表面が凸凹のクレーター状になっていた。これが花粉のシミだ。これにお湯をかければ消えるのは分かっているが、写真を撮るために、お湯の代わりに「ヘアードライヤー」で熱を加えてみた。

1 花粉によるシミがついた塗装板を顕微鏡で見ると、クレーターが。**これがシミに見える正体だ!!!!**



完全にクレーターがなくなってシミがどこかに消えてしまった



2 ドライヤーで加熱。表面温度60℃



3 表面温度70℃になってから30秒後



4 表面温度70℃になってから2分後

5 ヘアードライヤーをはずして、自然に冷えるのを待った1時間後

塗装板はキレイにもとどおり!

結論

花粉のシミ跡は70℃以上のお湯をかければ消える!!

または、夏まで待てば自然に消えてしまうこともあります。

70℃以上のお湯をかければ、キレイに取り除くことができます。もしくは、夏になれば自然にシミ跡は消えることもあります。花粉による目立つシミ跡が付くこと自体を防ぎたい場合は、絶対的な効果のあるキーパーコーティングで保護しておくことをおすすめします。

早めのコーティングで

花粉・黄砂のお手入れ簡単 すっきりキレイ!!

花粉・黄砂の季節

花粉や黄砂は車が汚れるだけではありません。塗装にダメージを与え美観をそとないます。早めのコーティングを施工することで花粉・黄砂が着付しにくく手早くキレイになります。



花粉・黄砂をよせつけないコーティング。

1年間、ノーメンテナンス。洗車だけでOK!

ボディ ガラスコーティング

CRYSTAL **KeepPer** クリスタルキーパー

施工間隔 1年ごとに繰り返し施工 水弾き 強撥水

施工時間 2時間～ お車を
お預かりします。 被膜 ガラス(ハイブリッド)

1番人気